

令和6年度 第3回学校運営協議会

校名	大阪府立八尾翠翔高校
校長名	氣賀 聡

開催日時	令和7年2月20日(木) 15時半～17時
開催場所	八尾翠翔高校 会議室
出席者(委員)	遠藤 信司委員・小林 考泰委員・竹田 考史委員・光岡 裕子委員・東野 敏夫委員 松本宣昭委員(欠席)
出席者(学校)	氣賀 聡・末吉 寛・塩崎 賢治・金井 啓子・高橋 雅彦・上坂 啓太・山本 和宏・中島 正家 山本 恭平・吉岡 俊治・中澤 侑吾・川向 直美・福田 隆哉・平野 賢児・島田 沙江 (敬称略)
傍聴者	
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価(評価)、令和7年度学校経営計画及び学校評価 各学年・分掌マネジメント表、第2回授業アンケート結果、令和6年度学校教育自己診断結果
備考	

議題等(次第順)
<p>学校長挨拶</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の現状と取り組み 2. 学年・分掌進捗状況 3. 第2回授業アンケート結果 4. 令和6年度学校教育自己診断結果 5. その他(連絡等)
協議内容・承認内容等(次第順)
<p>1. 現状の取り組みについて(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症はクラス3名程度の罹患率。卒業式等も感染拡大させず行えるよう努めたい ・2月15日に行った学校説明会は、昨年は0名だったが今年度は9名(中学生)の参加があった。 ・広報イベントとして、アリオ八尾での4校合同説明会や翠翔 expo 等、工夫を凝らした広報活動を展開し、教育庁から4名視察に来られた。 ・施設についてトイレ改修は順次行っており、今年度中に1階東側の渡り廊下がバリアフリーになる。 ・SDGs 部門で「こころの再生プロジェクト」、「いい歯のコンクール」2年連続表彰等多くの賞を受賞した。 ・入試について、第3回希望調査では169名であった。第4回目の希望調査が鍵になると考える。 ・学校の南側の土地がきれいになった。柏原市による公園整備が始まる予定で、スケートボード場等ができる予定。現在八尾翠翔高校のグラウンドにバックネットがないため、今後野球部の活動に支障が出てくる。現在大阪府等にバックネットを希望しているが返答はまだである。 ・DX推進事業指定校で来年も補助金を採択予定。 <p>2. 学年・分掌進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>1年</u> 進路変更は4名。勉強が苦手な生徒が増加している。学校が楽しいという生徒もたくさんいるので、指導も更に力をいれたい。 ・<u>2年</u> 進路変更は現在2名、保護者と連絡を取りながら指導中。修学旅行終了後から受験へ向けての気持ちの切り替えを図っている。学習サポーターを取り入れており、心の問題を抱えている生徒も多いのでSC・SSWとも連携している。希望する進路をかなえられるよう指導していく。 ・<u>3年</u> 中学の3年間をコロナ渦の中で過ごした学年ということもあり、欠席等も多く皆勤も半減した。進路への生徒の意識も低いせいか、コロナの影響が大きいと感じた学年。

・進路

当初予定していた講習等は予定通り実行できた。

専門学校希望者が増加し、早く進路先を決めたいという気持ちの表れではないかと思われる。就職希望者も増加し、学校斡旋就職は現在1名受験中である。

自習室の利用者が昨年より減少した。生徒への働きかけは例年通り行ったが、来年度は例年以上の声かけ等をしていきたい。

・教務

授業見学や研究授業等、授業改善は学力向上委員会と連携して行っている。

プレゼンテーション能力やグローバル社会に対応できる人材の育成を目指した。活動としては、ICTを活用した発表の場を取り入れ、教職実習で小中学校での活動や保育志望の生徒が保育園で活動し、海外からの生徒の受け入れや茶吉庵での活動を行った。

・生徒指導 G

携帯が使える時間が増え、休日に登校する時の服装が変更になったなど、生徒が主体的に動いて変更になった点が多くある。

高校生にしては幼いと感じる問題事象が増加しており、できて当たり前の最低ラインを再度考える必要があるように感じる。

喫煙者が増加中と地域の集まりで報告があった。要因は不明瞭だが、モラルマナーの向上と地域から信頼され、安心して通える学校を旨として指導していく。

・生徒会 G

体育祭は団Tシャツを起用し、文化祭を初の2日間開催した。来年度は、文化祭でペイペイの使用も検討中である。

・保健 G

災害時の心構えを再度確認し、がん教育を2年生対象で行った。生徒にも好評だったため来年度以降も継続していきたい。養護教諭複数配置を生かし、手厚い生徒サポートも行っていきたい。

・総務広報部

SNS 活動に力を入れて取り組み、登録者数は増加した。学校案内のリニューアルで希望調査の人数増加につなげたい

・自立

現学級とかかわりを持った体制作りを意識して行った。

生徒が卒業した時に自分の力で生きていける力をつけるための活動として、職業訓練校の試験で出る内容の道具を自分たちで作って練習し試験に臨んだ。

2月19日に入試を終えて、現在志願者3名。本校の活動を理解してもらおうよう発信していきたい。

・教育サポート室

生徒サポート室が発足し、2週間に1回会議を開催して生徒の情報を学年・養護教諭・保健 G 共で共有している。現状として、SC78件、SSW97件の相談があった。これを受けて、SCやSSWの活動について教員研修も行った。不登校が多い事が課題であり、来年度以降も個々に合わせたサポートを旨とする。

3. 第2回授業アンケート結果

前回と大きく変わらず。高い数値が出てきている。課題としては、生徒取り組み（予習や復習ができていない）と生徒意識（授業内容の興味関心）があげられる。一方で授業を受けて知識などが身についたと感じていると回答した生徒は多い。学校の授業でグループワークの活動等が多く取り入れているからではないと推察する。

4. 学校教育自己診断結果

生徒アンケートについて

生徒：肯定的な回答が8割を超えた項目は、9項目で新たに去年より1項目増加した。

11項目で肯定的回答が前年度より増加した。

「SNS・HPを見たことがある」や「教員が生徒の意見を聞いてくれる」、「学校に行くのが楽しい」「先生の指導が適切」「行事が楽しく行えるようになっていく」という項目が大きく伸びている

課題→家庭学習・悩みを相談できる先生がいるかという質問に対して、肯定的回答が少ない

保護者：肯定的な回答が8割を超えた項目が、17項目中11項目であった。

「SNSを見た」「学校行事が楽しく工夫されている」「授業が分かりやすい」「生徒指導方法に共感できる」という項目が大きく飛躍した。

課題→家庭学習の時間の確保ができていないこと

教職員：肯定感が非常に高い。特に教育相談体制ができていていると感じているが、生徒は半数が相談できる先生がいないと回答し解離している状態である。

課題→自信を持って活動できているが、過信していかないように注意する。

5. その他

- ・学校経営計画及び学校評価については、令和9年にはどうするかという内容・八尾翠翔の変化を来年度で完結させるための内容を記載。
- ・家庭での学習の件について、生徒は学習机をもっているのか・家で勉強できる環境はあるのかというのを学校で把握していますか？かという意見が出た。生徒に直接問うてもいいかが問題との意見も。
- ・先生と生徒の見解に解離が生じていることについて、この学校に来てよかったと感じている生徒が3年生で減少している傾向がある。その原因究明をしてはどうかという意見が出た。
- ・コロナが明けて、この1年間で生徒の表情が明るくなったと感じる。
- ・きめ細やかな生徒対応をしていると感じたが、一度振り返らないと教員が疲弊するのでは？ないかという意見が出た。生徒の変化や自分の指導について内容を具体的に話し合う機会が必要である。
- ・高校生で学習に向かう姿勢は、夢や目標を見つけることで具体的な行動につながる。生徒が何に向かって勉強するのかを具体化する必要性があり、学校はそれを把握すべきである。